

平成24年度

山梨県男女共同参画年次報告書

山 梨 県

本書について

山梨県では、山梨県男女共同参画推進条例第20条に基づき、毎年度男女共同参画計画の推進の状況及び男女共同参画の推進に関する施策の実施の状況などを取りまとめ公表しています。

平成23年度は、第2次山梨県男女共同参画計画の最終年度にあたり、平成24年度から平成28年度を計画期間とする第3次山梨県男女共同参画計画の策定を行いました。これに伴い、男女共同参画計画の推進状況と施策の実施状況とともに、第3次計画に基づく平成24年度の施策の予算措置状況を取りまとめました。

なお、各データについては、作成時点（平成25年1月）までに公表されたデータを掲載しています。（掲載するデータの中には小数点以下を四捨五入しているものがあります。）

この報告書が、一人でも多くの方々に、男女共同参画社会について考え、理解と関心を深めていただくきっかけとなるとともに、男女共同参画社会の実現に向けた県民の皆様の取組の一助になれば幸いです。

目 次

I 男女共同参画施策の推進状況

- 1 第2次山梨県男女共同参画計画の施策体系・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
- 2 第2次山梨県男女共同参画計画に基づく施策の推進状況・・・・・・・・・・ 3

II 男女共同参画施策の実施状況

- 1 第2次山梨県男女共同参画計画関連施策の実施状況・・・・・・・・・・・・ 18

III 第3次山梨県男女共同参画計画に基づく施策の予算措置状況

- 1 第3次山梨県男女共同参画計画の施策体系・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 46
- 2 第3次山梨県男女共同参画計画関連施策の予算の措置状況・・・・・・・・ 47
- 3 第3次山梨県男女共同参画計画における成果目標一覧・・・・・・・・・・ 79

IV 県内市町村の状況

- 1 男女共同参画に関する条例の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 82
- 2 男女共同参画に関する計画等の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 83
- 3 審議会等における女性の登用の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 84

V 参考資料

- 1 男女共同参画に関するデータ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 88
- 2 山梨県のデータ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 93
- 3 男女共同参画に関する国内外の動き・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 99
- 4 関係法令(条例・要綱)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 101
- 5 行政関係窓口、相談窓口等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 109

I 男女共同参画施策の推進状況

1 第2次山梨県男女共同参画計画の施策体系

第2次計画(計画期間:平成19年度~23年度)では、次のとおり5つの基本目標に14の重点目標と56の施策の方向を掲げ、男女共同参画社会の実現に向けた取組を進めてきました。

策定年月 平成18年12月

計画期間 平成19年度~23年度

総合目標	基本目標	重点目標	施策の方向
男女共同参画社会の実現	I 男女共同参画社会を形成するための意識改革	1 男女共同参画の視点に立った社会慣行の見直しと男女平等意識の醸成	(1)男女共同参画の視点に立った社会慣行の見直しと男女平等意識の醸成 (2)男女共同参画にかかる情報収集・提供等 (3)メディアにおける男女共同参画の推進
		2 男女共同参画を推進し、多様な選択を可能にする教育・学習の充実	(1)学校教育における男女平等を推進する教育と学習の充実 (2)社会教育等における男女共同参画の推進 (3)生涯にわたる学習活動の支援 (4)女性のエンパワーメントのための学習支援及び女性のチャレンジ支援
	II 男女共同参画による豊かな社会づくり	1 政策・方針決定過程への女性の参画の拡大	(1)各種審議会委員等への女性の参画促進 (2)女性職員の登用の推進 (3)女性の人材育成等
		2 地域社会への男女共同参画の促進	(1)地域社会活動への男女共同参画の推進 (2)環境分野での男女共同参画の推進 (3)地域おこし、まちづくり、観光分野等における男女共同参画の推進 (4)男女共同参画の視点を取り入れた防災(災害復興)体制の促進
		3 高齢者、障害者が安心して暮らせる環境整備	(1)高齢者の社会活動の促進、学習機会の充実 (2)高齢者が安心して暮らせる介護体制の充実 (3)障害者の自立した生活の支援 (4)社会基盤の整備
		4 農山村における男女共同参画の確立	(1)女性が住みやすく活動しやすい農山村づくり (2)農村地域の女性の地位向上に向けた意識改革の促進 (3)政策・方針決定過程への女性の参画の促進 (4)農山村の高齢者が安心して暮らせる条件の整備
		5 国際社会を視野に入れた男女共同参画の促進	(1)国際社会における取組等の情報収集及び提供並びに施策への反映 (2)あらゆるレベルでの国際交流や協力の推進
	III 男女が共に仕事と家庭を両立できる環境づくり	1 働く場における男女の均等な機会と待遇の確保	(1)男女の均等な雇用機会と待遇の確保の促進 (2)女性が能力を発揮しやすい職場環境の整備促進 (3)妊娠中及び出産後も働きやすい職場環境づくりの促進
		2 多様な働き方への支援	(1)能力開発のための支援 (2)再就職に向けた女性の能力開発のための支援 (3)多様な働き方への支援 (4)商工業等の自営業に従事する女性への支援
		3 仕事と家庭の両立支援と働き方の見直し	(1)仕事と育児・介護等家庭生活との両立に関する意識啓発の充実 (2)仕事と育児・介護等両立のための制度の定着 (3)育児・介護等を行う労働者が働き続けやすい環境の整備 (4)多様なライフスタイルに応じた保育サービスの整備 (5)ひとり親家庭等に対する支援の推進 (6)家庭生活への男女の参画の促進(特に男性の参画促進)
	IV 女性の人権と健康に配慮した社会づくり	1 女性に対するあらゆる暴力の根絶	(1)女性に対するあらゆる暴力の予防と根絶のための基盤づくり (2)配偶者等からの暴力の防止及び被害者の保護等の推進 (3)性犯罪被害者への支援と潜在化の防止 (4)売買春への対策の推進 (5)人身取引への対策の推進 (6)セクシュアル・ハラスメント防止対策の推進 (7)ストーカー行為等への対策の推進
		2 生涯を通じた女性の健康支援	(1)生涯を通じた女性の健康の保持増進 (2)妊娠・出産期における女性の健康支援 (3)生涯を通じた健康づくりの情報や学習機会の提供 (4)エイズ、性感染症、薬物乱用、喫煙、飲酒等に関する適切な教育及び啓発活動の充実
	V 男女共同参画社会形成に向けた計画的推進	1 庁内の推進体制の充実	(1)県の推進体制 (2)計画の進捗状況の公表 (3)男女共同参画推進センターの機能の充実 (4)相談・苦情処理制度の周知 (5)職員研修の充実
		2 市町村及び各種団体との連携	(1)県民運動の展開 (2)市町村との連携 (3)関係機関、関係団体等との連携

2 第2次山梨県男女共同参画計画に基づく施策の推進状況

第2次計画では、基本目標ごとに20項目の目標指標と目標値を設定し、そのうち11項目が目標を達成しました。

第2次計画により、本県の男女共同参画は全体的には徐々に成果を上げてきましたが、地域における意思決定過程への女性の参画や、職場における女性の登用などの身近な分野ではまだ進んでいるとは言い難い状況にあります。

今後も固定的性別役割分担意識の解消や社会慣行の見直しをはかる等、社会のあらゆる分野で着実な成果を上げていくことが大切です。

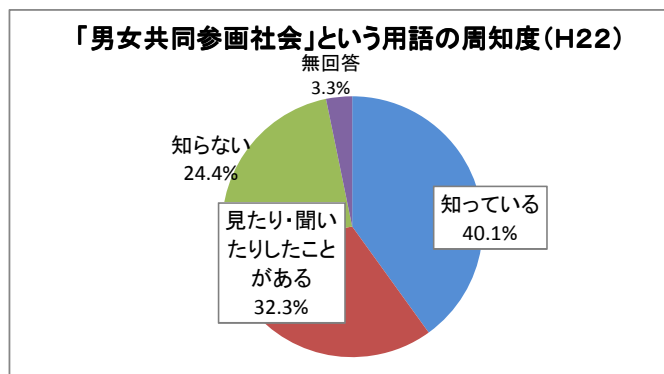
＜基本目標ごとの達成状況＞ （達成項目には推移の数値にアンダーラインを引いています。）

基本目標Ⅰ 男女共同参画社会を形成するための意識改革

数値目標1 「男女共同参画社会」という用語の周知度

推移：データなし(H17年度) → 72.4%(H22年度) 目標値：100%(H23年度)

「男女共同参画に関する県民意識・実態調査(H22)」(以下、本編において「県民意識・実態調査」という。)によると、「男女共同参画社会」という用語を「知っている」と回答した人は40.1%、「見たり・聞いたりしたことがある」人は32.3%であり、あわせて72.4%となります。一定の周知は進んでいるものの、目標値には届いていない状況です。

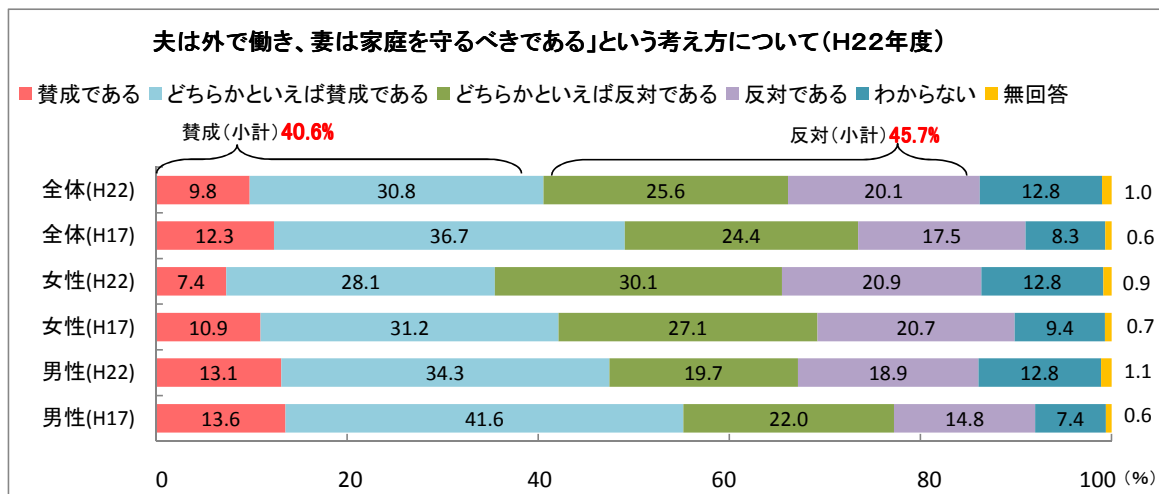


(資料：県民生活・男女参画課 平成22年度男女共同参画に関する県民意識・実態調査)

数値目標2 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考えに反対する人の割合を高める

推移：-7.1ポイント(H17年度) → 5.1ポイント(H22年度) 目標値：5.0ポイント(H23年度)

「県民意識・実態調査」によると、「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方に賛成する人が40.6% (全国41.3%)、反対する人が45.7% (全国55.1%)で調査をはじめて初めて反対が賛成を5.1ポイント上回りましたが、全国と比べると反対する人の割合は低い状況です。



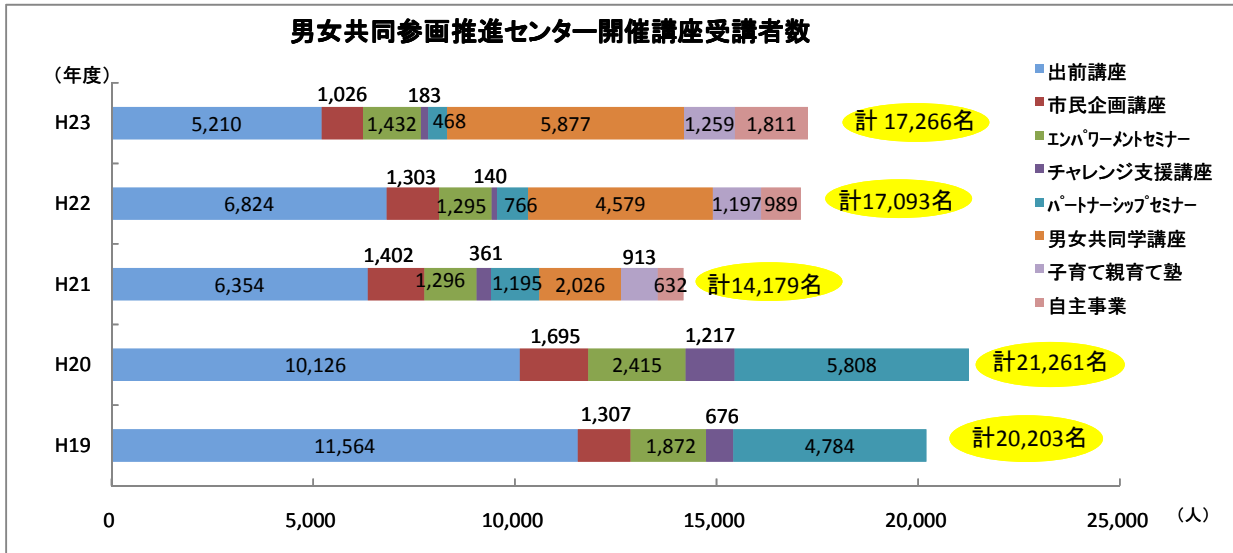
(資料：県民生活・男女参画課 平成22年度男女共同参画に関する県民意識・実態調査)

数値目標3 男女共同参画推進センター開催講座受講者数

推移: 11,800人(H17年度) → 90,002人(H19~H23年度累計)

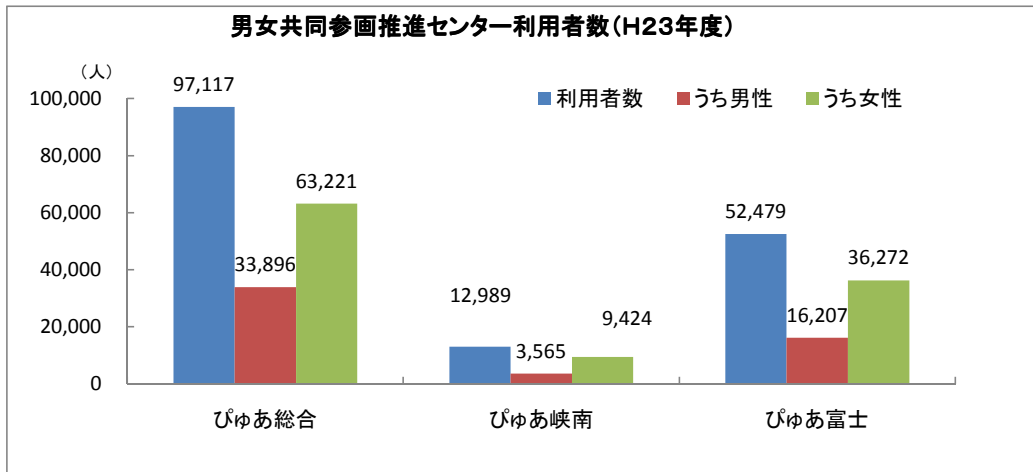
目標値: 60,500人(H19~H23年度累計)

男女共同参画推進センター(ぴゅあ総合、ぴゅあ峡南、ぴゅあ富士)では、男女共同参画社会実現のための学習、交流の場として各種講座を開催し、H19年度からH23年度までの開催講座受講者数は累計で9万2千人となり、目標値を大幅に上回りました。



(資料: 男女共同参画推進センター)

関連資料



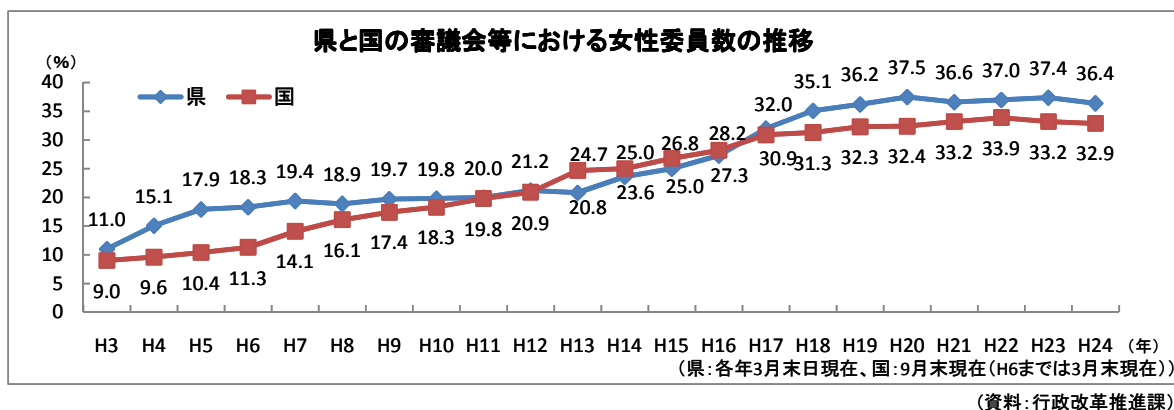
(資料: 男女共同参画推進センター)

基本目標Ⅱ 男女共同参画による豊かな社会づくり

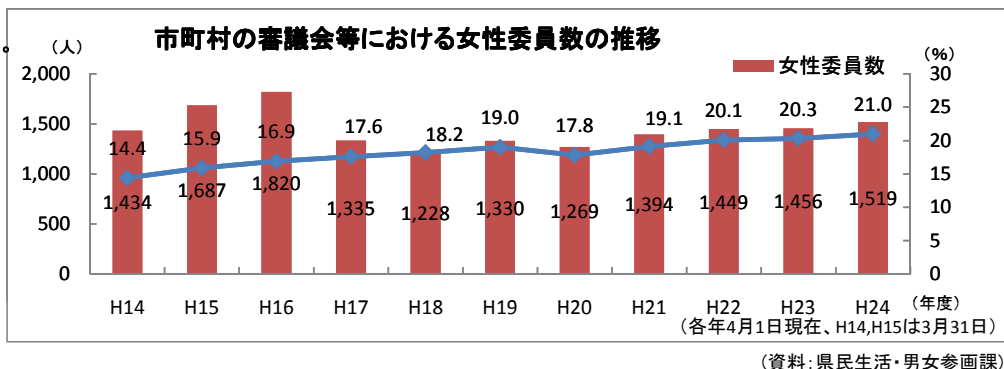
数値目標4 県の審議会委員等への女性の登用率

推移: 35.1%(H17年度) → 36.4%(H23年度) 目標値: 38%(H23年度)

県の女性委員の割合はここ数年横ばい傾向にあります。全国平均は上回っていますが、目標には達していない状況です。



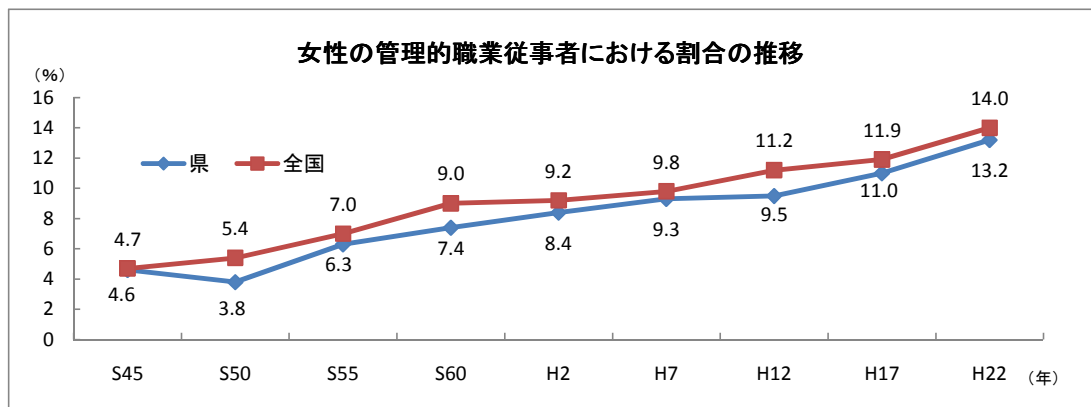
関連資料



数値目標5 管理的職業従事者における女性の割合

推移: 9.5%(H12年) → 13.2%(H22年) 目標値: 20%(H23年)

管理的職業従事者における女性の割合は、H22年で13.2%と低いものの、全体としては増加傾向にあります。

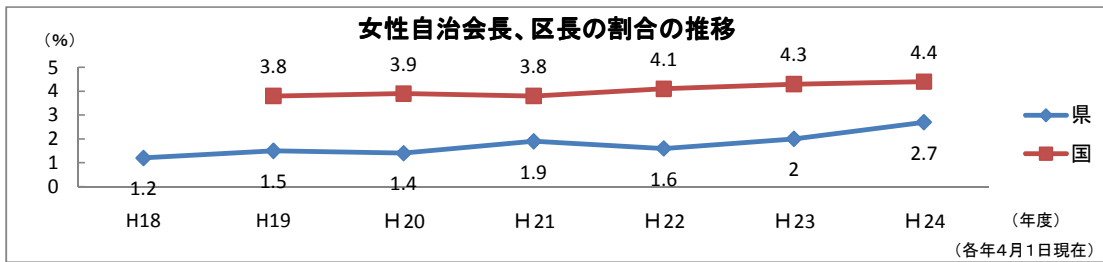


数値目標6 自治会長、区長における女性の割合

推移: 1.2%(H18年度) → 2.0%(H23年度)

目標値: 2.0%(H23年度)

H23年度は、自治会長、区長2,289人中、女性は45人であり、女性の割合は2.0%とまだ低いものの年々増加傾向で推移し、目標数値を達成しました。



(資料: 県民生活・男女参画課)

関連資料

山梨県における自治会長、区長数の推移

	H19	H20	H21	H22	H23	H24
自治会長、区長数	2,377	2,218	2,191	2,177	2,289	2,309
女性自治会長、区長数	35	30	42	34	45	63

(各年4月1日現在)

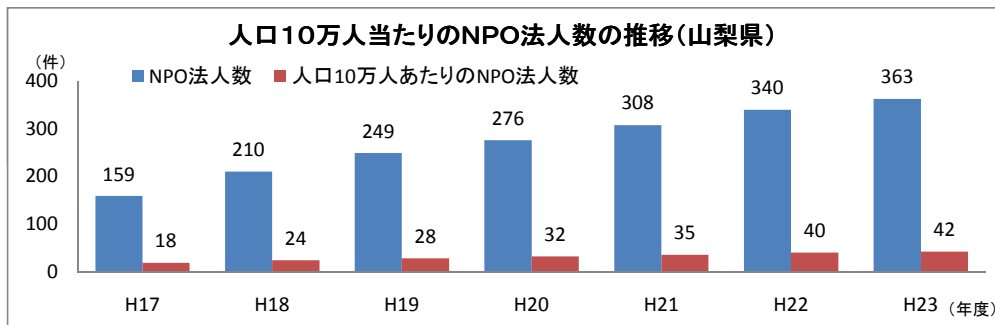
(資料: 県民生活・男女参画課)

数値目標7 人口10万人当たりのNPO法人数

推移: 18法人(H17年度) → 42法人(H23年度)

目標値: 33法人(H23年度)

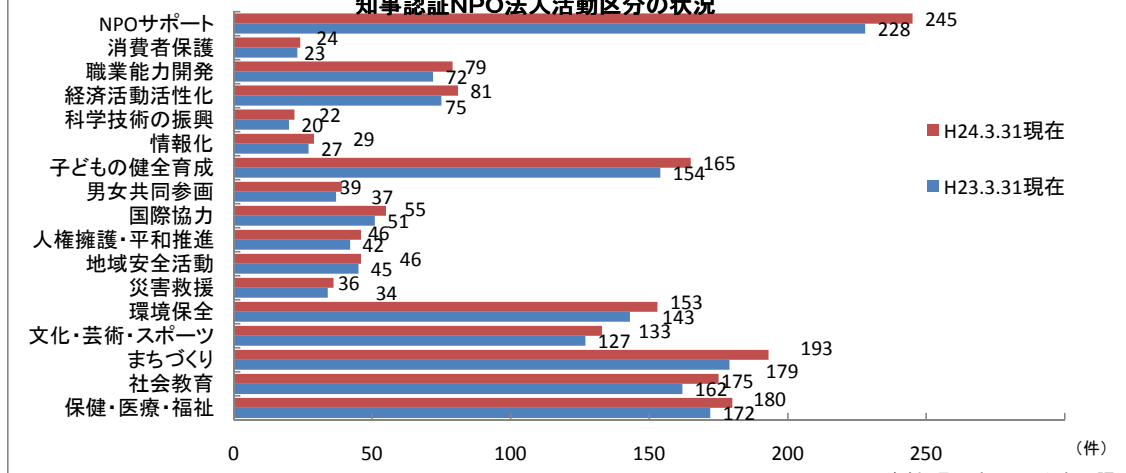
H23年度の知事認証のNPO法人は、363法人です。人口10万人当たりのNPO法人数は、42法人で年々増加しています。



(資料: 県民生活・男女参画課)

関連資料

知事認証NPO法人活動区分の状況

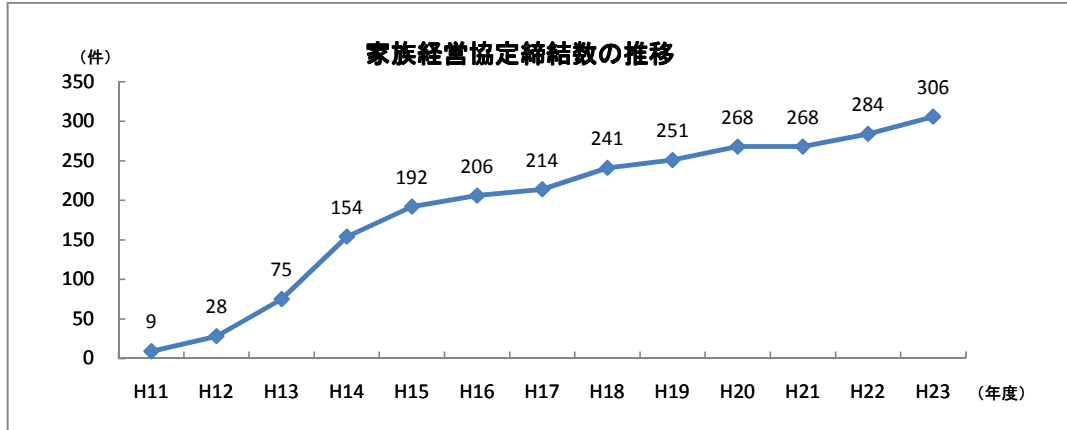


数値目標8 家族経営協定締結数（農業）

推移：214件(H17年度) → 306件(H23年度) 目標値：266件(H23年度)

H23年度の農業分野における家族協定数は、306件で、年々増加しています。

※家族経営協定とは、家族のだれもがいきいきと経営に参画できるように、経営の方針や家族一人ひとりの役割分担、就業条件・就業環境など、当たり前のように行っていることや役割が曖昧になっていることについて改めて家族みんなで話し合い決めるもので、農業分野においては「農業経営の方針決定」「労働時間・休日」「農業面の役割分担」についての取り決めが多くなっています。



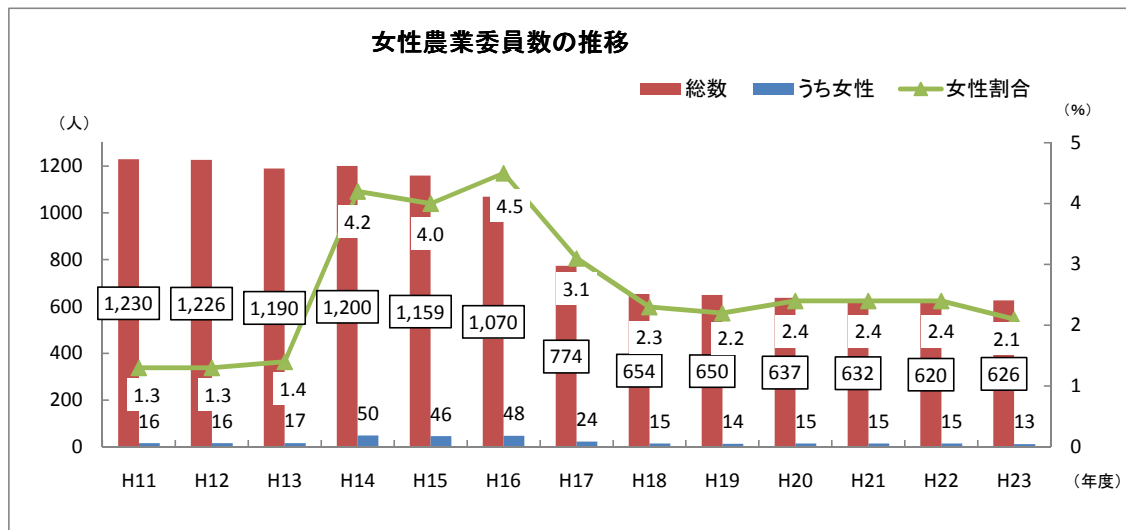
(資料:農業技術課)

数値目標9 議会推薦による選任女性農業委員数

推移：13人(H18年度) → 11人(H23年度) 目標値：28人(H23年度)

H24年4月現在の女性農業委員数は13人で、このうち選任委員は11人です。

※農業委員会は「農業委員会等に関する法律」に基づき選挙による委員(公募委員)と市町村議会が推薦し市町村長が選任する委員(選任委員)で組織されています。



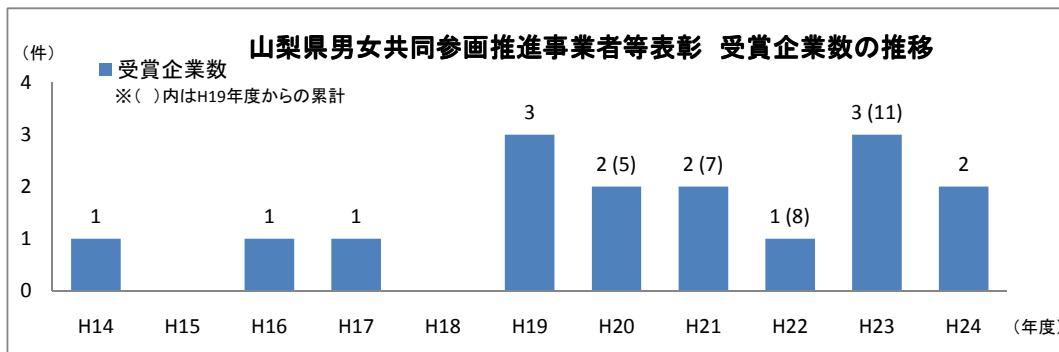
(資料:農政総務課)

基本目標Ⅲ 男女が共に仕事と家庭を両立できる環境づくり

数値目標10 山梨県男女共同参画推進事業者等表彰(事業者表彰)数

推移: 3企業(H14~H18年度累計) → 11企業(H19~H23年度累計) 目標値: 10企業(H19~23年度累計)

H19年度から23年度までの間に11企業が受賞し、目標数値を達成しました。またH24年度には2企業が受賞しています。



(資料: 県民生活・男女参画課)

関連資料

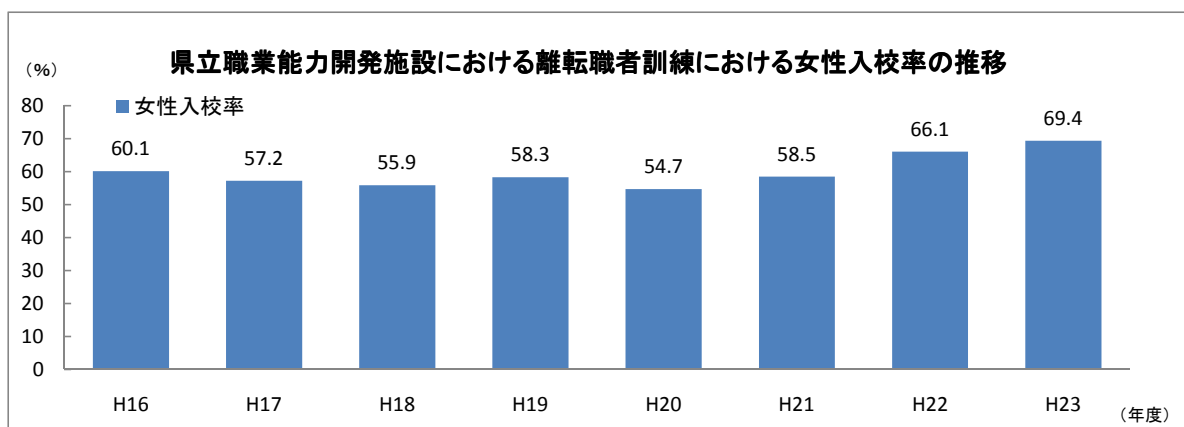
山梨県男女共同参画推進事業者等表彰における過去の受賞企業

H14	(株)信玄食品
H16	企業組合ワーカーズ・コレクティブ・パクぱく
H17	(財)山梨厚生会 山梨厚生病院
H19	(株)石友、(株)オフィス・パパドゥ、NECコンピュータテクノ(株)
H20	(株)ネオシステム、都留信用組合
H21	甲府信用金庫、医療法人 静正会 三井クリニック
H22	ニスカ株式会社
H23	(株)はくばく、(株)YSK e-com、生活協同組合パルシステム山梨
H24	(株)シラネパック、(株)フォネット

数値目標11 県立職業能力開発施設における離転職者訓練における女性入校率

推移: 60.1%(H16年度) → 69.4%(H23年度) 目標値: 65.0%(H23年度)

H23年度の県立職業能力開発施設(産業技術短期大学校、都留高等技術専門校、峡南高等技術専門校、就業支援センター)における離転職者訓練への女性入校率は69.4%と目標数値を上回っています。

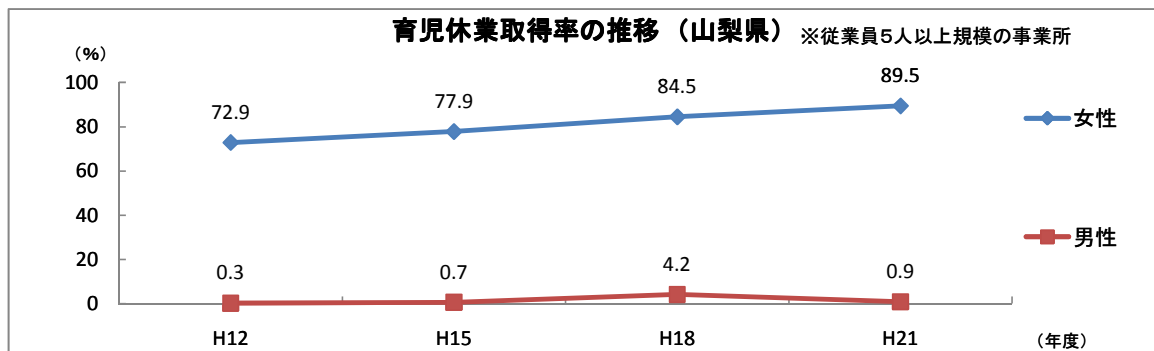


(資料: 産業人材課)

数値目標12 男性の育児休業取得率

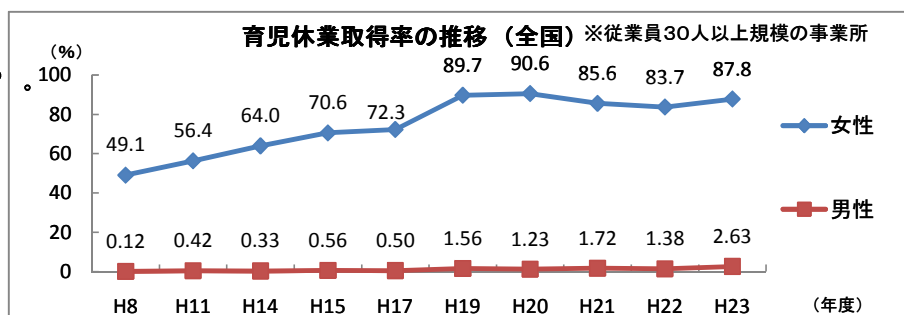
推移: 0.7%(H15年度) → 0.9%(H21年度) 目標値: 5.0%(H23年度)

H21年度の山梨県の男性の育児休業取得率は0.9%と低い割合です。従業員30人以上規模の事業所における育児休業制度の導入は、山梨県も全国も90%以上に上昇していますが、男性の育児休業取得率は全国的にも低水準で推移しています。



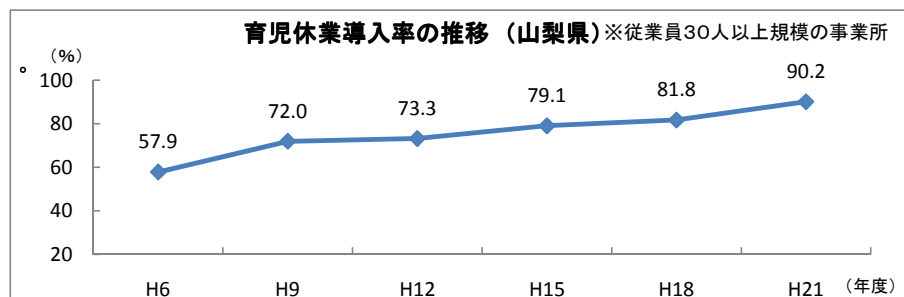
(資料: 労政雇用課「山梨県女性労働者就業実態調査」)

関連資料



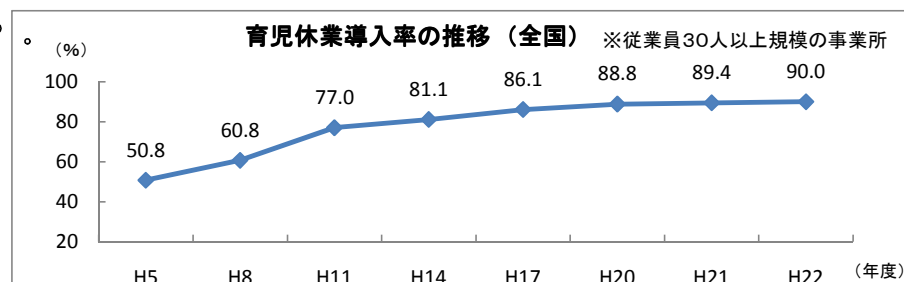
(資料: 厚生労働省「雇用均等基本調査」)

関連資料



(資料: 労政雇用課「山梨県女性労働者就業実態調査」)

関連資料

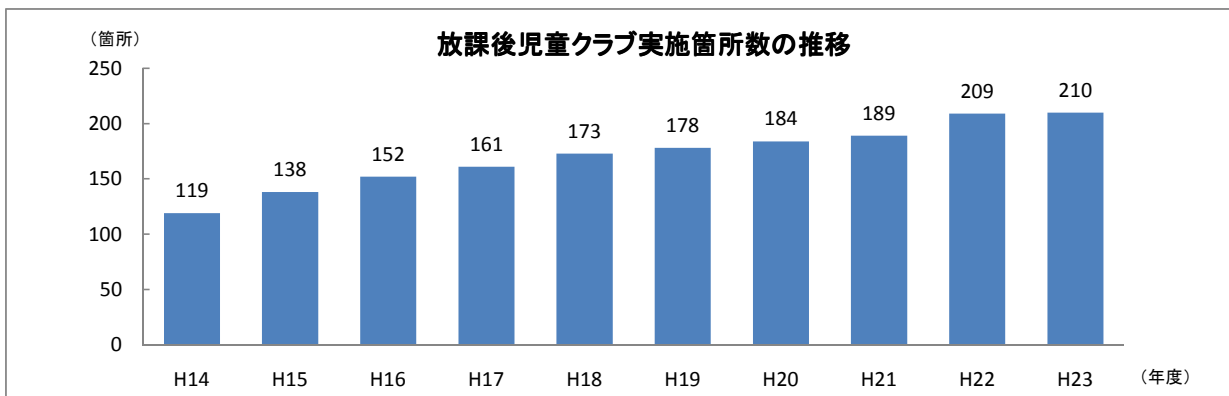


(資料: 厚生労働省「雇用均等基本調査」)

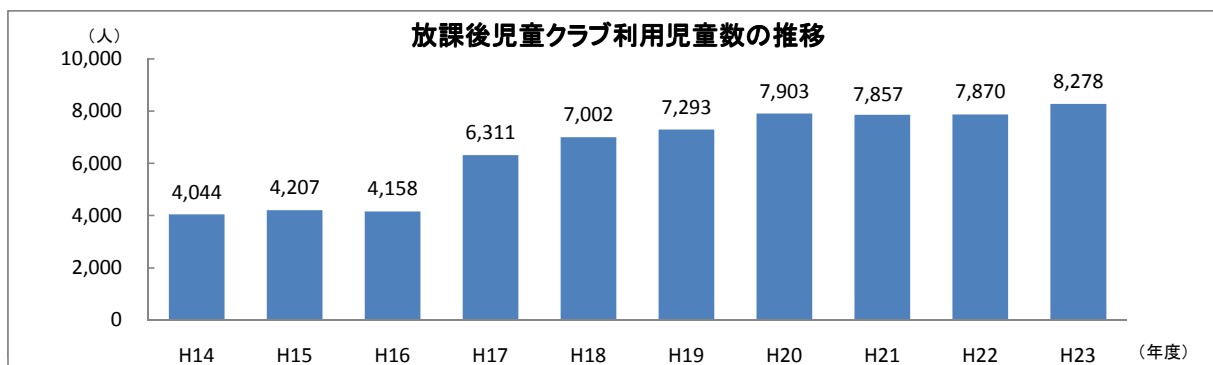
数値目標13 放課後児童クラブ実施箇所数及び定員

推移: 161箇所 (H17年度) → 189箇所(H21年度) 目標値: 180箇所(H21年度)
6,311人 (H17年度) → 7,857人(H21年度) 目標値: 7,400人(H21年度)

H21年度の放課後児童クラブ実施箇所数は189箇所、利用児童数は7,857人です。
なお、H23年度の数値は、210箇所、利用児童数は8,278人と年々増加しています。



(資料: 児童家庭課)

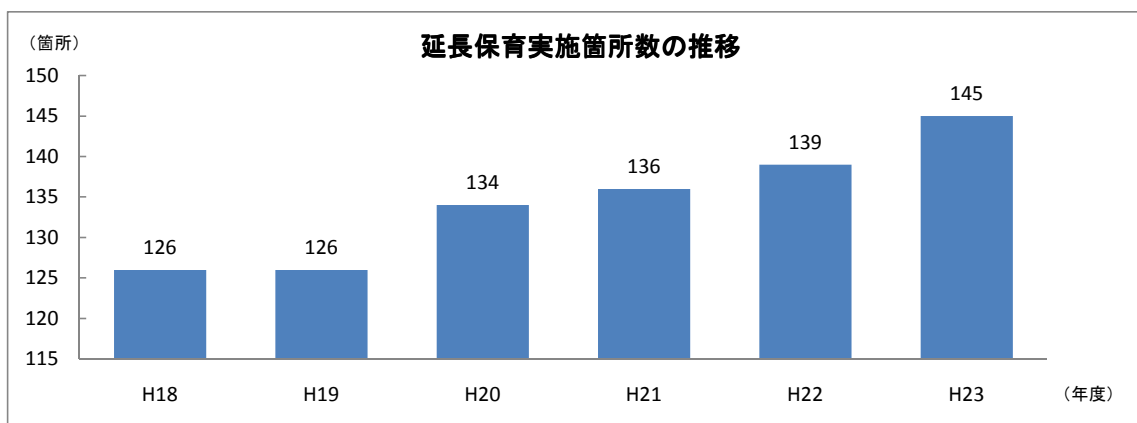


(資料: 児童家庭課)

数値目標14 延長保育実施保育所数

推移: 117箇所(H17年度) → 136箇所(H21年度) 目標値: 160箇所(H21年度)

H21年度の延長保育実施保育所数は136箇所です。H23年度の数値は145箇所と年々増加していますが、目標値には到達していない状況です。

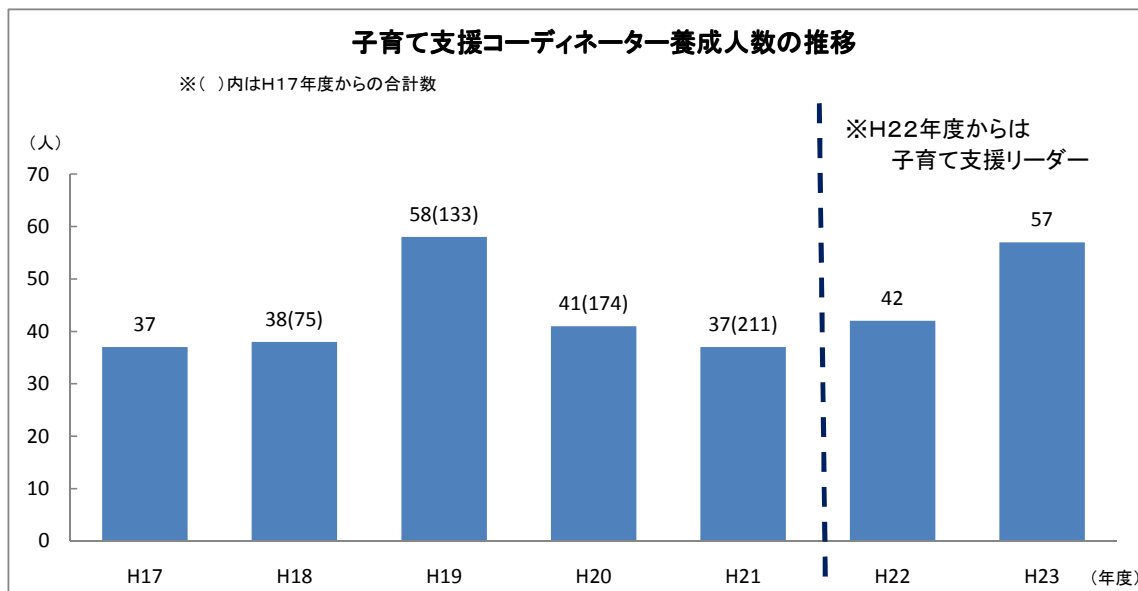


(資料: 児童家庭課)

数値目標15 子育て支援コーディネーターの養成人数

推移: 37人(H17年度) → 211人(H17~H21年度累計) 目標値: 200人(H17~H21年度累計)

H17年度からH21年度までの子育てコーディネーターの養成人数の累計は、211人です。H22年度からは子育て支援リーダーの養成を行っています。



(資料: 社会教育課)

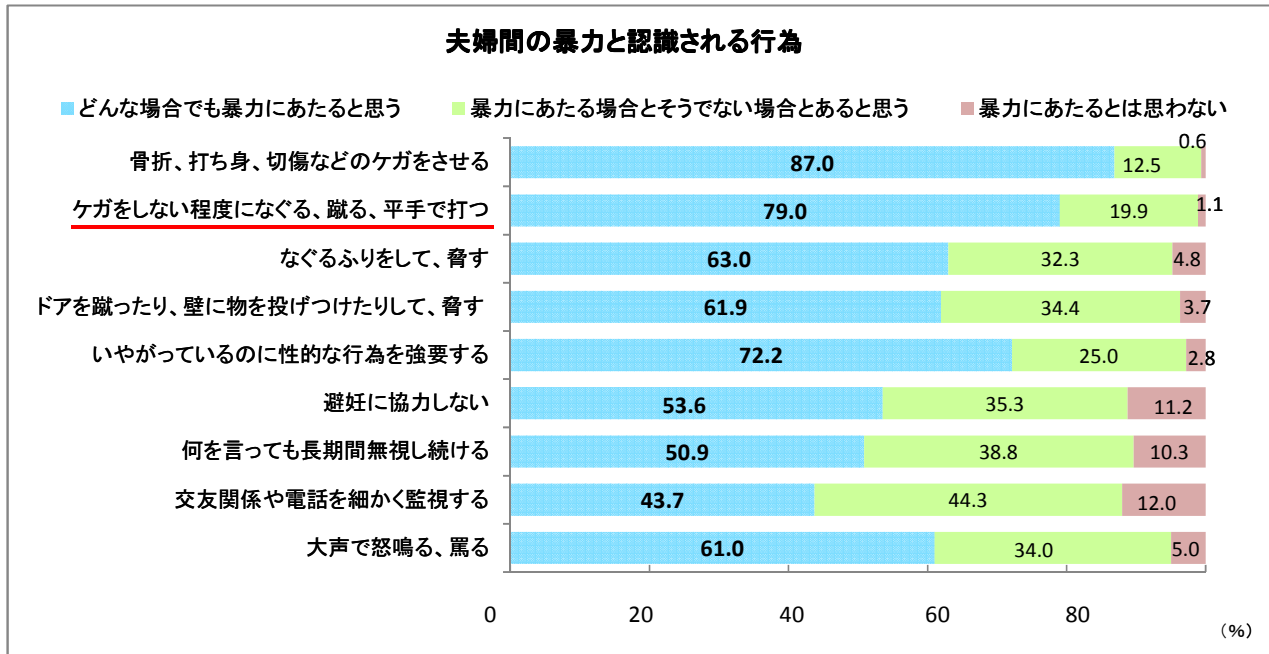
基本目標Ⅳ 女性の人権と健康に配慮した社会づくり

数値目標16 女性の人権についての認識率

(夫婦間における「ケガをしない程度になぐる蹴る、平手で打つ」行為について、暴力と認識する人の割合)

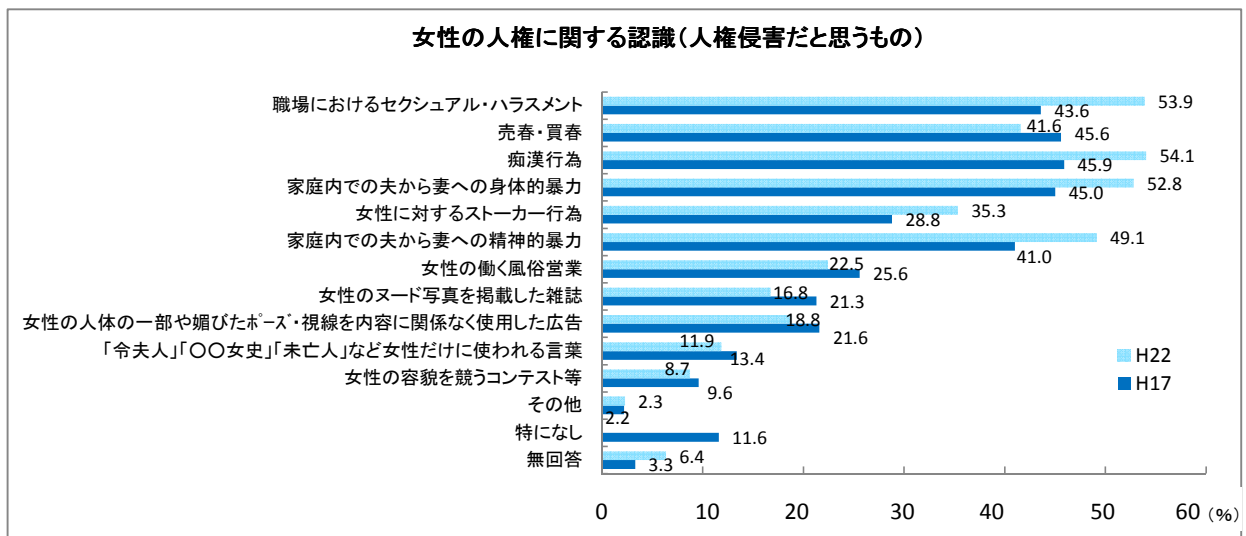
推移: 77.7%(H17年度) → 79.0%(H22年度) 目標値: 100%(H23年度)

県民意識・実態調査によると、女性の人権についての認識率(「ケガをしない程度になぐる蹴る、平手で打つ」行為について、暴力と認識する人の割合(無回答者を除く))は、79.0%です。



(資料: 県民生活・男女参画課 平成22年度男女共同参画に関する県民意識・実態調査)

関連資料

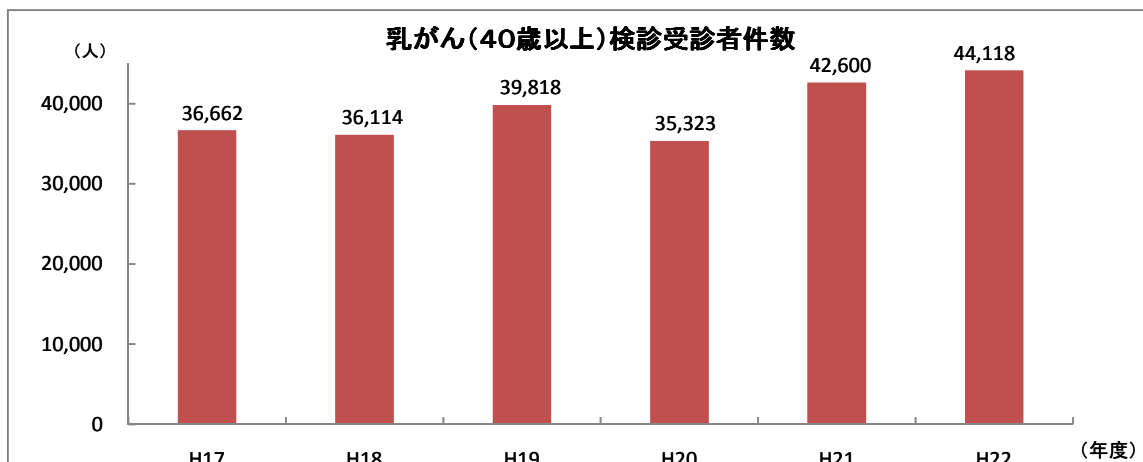


(資料: 県民生活・男女参画課 平成22年度男女共同参画に関する県民意識・実態調査)

数値目標17 乳がん検診(40歳以上)受診者数

推移:36,662人(H17年度) → 44,118(H22年度) 目標値:43,000人(H23年度)

H22年度の乳がん検診受診者数は44,118人と目標数値を達成しました。

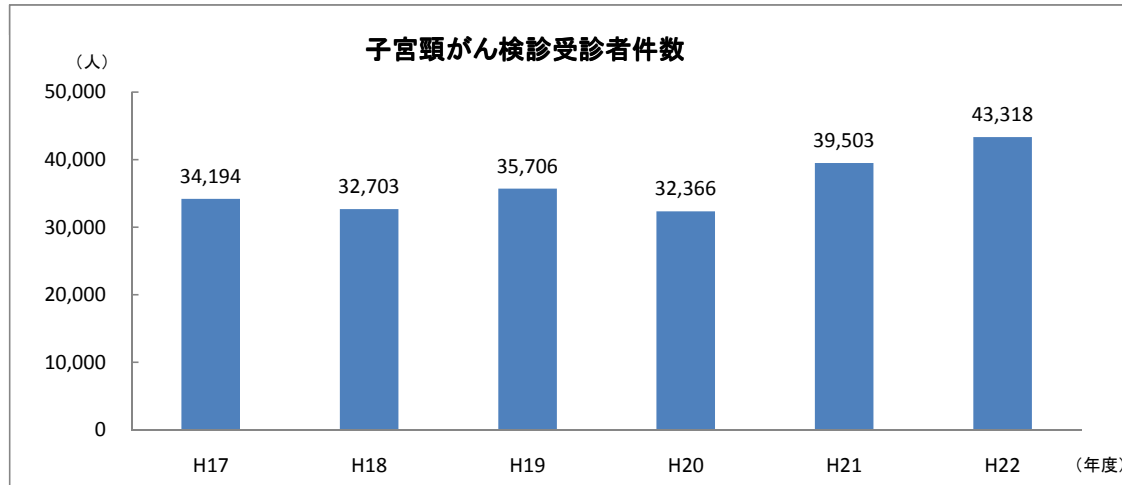


(資料:健康増進課)

数値目標18 子宮頸がん検診受診者数

推移:34,194人(H17年度) → 43,318人(H22年度) 目標値:36,400人(H23年度)

H22年度の子宮頸がん健診受診者件数は43,318名と目標数値を大きく上回っています。



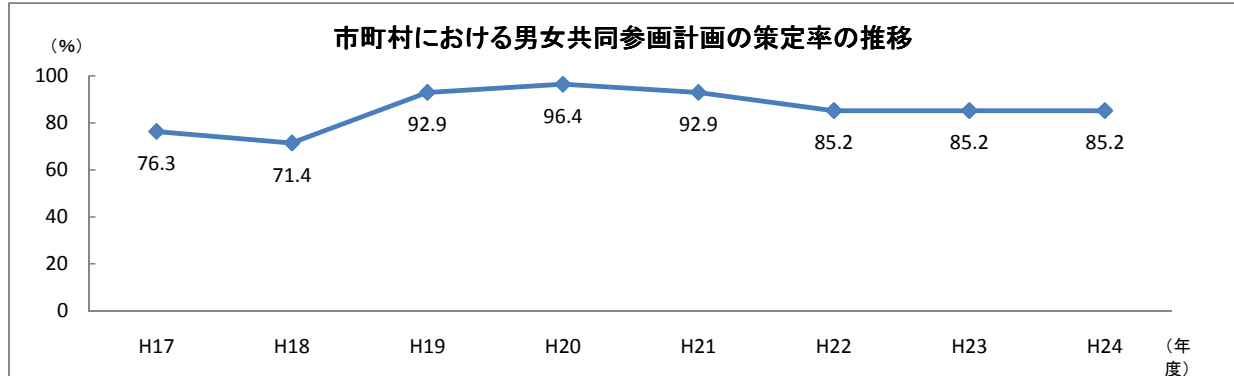
(資料:健康増進課)

基本目標Ⅴ 男女共同参画社会形成に向けた計画的推進

数値目標19 市町村男女共同参画計画策定率

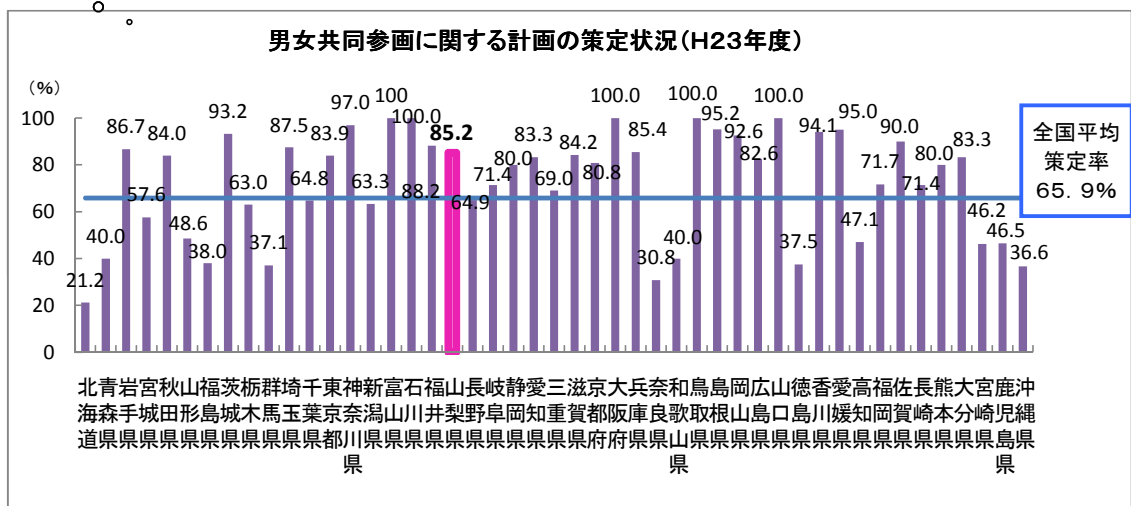
推移:71.4%(H18年度) → 85.2%(H23年度) 目標値:100%(H23年度)

H23年度の市町村の男女共同参画計画の策定状況は、27市町村中23市町村が策定し、策定率は85.2%です。全国平均(65.9%)を上回っていますが、目標値には達していない状況です。



(資料:県民生活・男女参画課)

関連資料



(資料:内閣府男女共同参画局)

数値目標20 男女共同参画宣言市町村数

推移:1市町村(H17年度) → 3市町村(H23年度) 目標値:5市町村(H23年度)

H23年度までに都留市、南アルプス市、北杜市が宣言を行いました。このうち、都留市と南アルプス市は国との共催による男女共同参画宣言都市奨励事業を実施しています。また、北杜市は首長声明として「男女共同参画都市宣言」を行っています。

男女共同参画宣言市町村

都留市	「都留市男女共同参画都市宣言」	(H13. 3. 4)
南アルプス市	「南アルプス市男女共同参画都市宣言」	(H19. 2. 25)
北杜市	「男女共同参画都市宣言」	(H23. 11. 1)

(資料:県民生活・男女参画課)

